

第 13 回 恵那市恵那南地区統合中学校準備委員会
総務部会（会議録）

会議の名称 第 13 回恵那市恵那南地区統合中学校準備委員会総務部会
開催日時 令和 7 年 6 月 5 日（木） 午後 8 時 10 分から
開催場所 岩村コミュニティセンター 大ホール
議題

- ・ 自己紹介
- ・ 課題の進捗状況について
- ・ 連絡事項

公開非公開の別 公開
出席者 委員
原田 英明
安藤 善和
杉山 淳
小木曾 真由美
市岡 信宏
服部 雪美
堀 雄二
近藤 譲
成瀬 久志
加藤 浩児
根崎 紀幸
小笹 寿里
加藤 美香
三浦 祐揮
鈴木 茜
山田 珠美

教育委員会
工藤 博也 山本 晋平 西尾 功
安部 尚紀 志津 博光 勝 有紀

事務局 それでは、すみません、総会に引き続きということで、総務部会のほうを始めさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

資料のほう、皆さんお持ちでしょうか。大丈夫ですか。ありますか。資料のレジュメに沿いまして、進めさせていただきますのでお願いします。

まず最初に、部会長から挨拶をいただきます。お願いします。

1 部会長あいさつ

部会長 本日はお忙しい中、お集まりいただきましてありがとうございます。総会に引き続きまして、総務部会ということで行っていきたいというふうに思います。この後、自己紹介がありますので、まず私の自己紹介をここで済まさせていただきます。岩村地域自治区運営協議会会長の原田英明と申します。総務部会長、それから理事、監事を務めさせていただいております。

残りの来春の開校までに、与えられた課題につきまして、順次、皆さんとともに話し合っていきたいと思いますので、どうぞよろしくお願いします。

事務局 ありがとうございます。

2 自己紹介

事務局 そうしたら、2番の自己紹介のほうに移ります。今年度1回目ということで、委員も代わられた方が見えますので、自己紹介を順番にしていきたいと思いますのですが、今、部会長の原田さんにさせていただきましたので、副部会長の安藤先生、すみません、お願いいたします。

副部会長 改めまして、こんばんは。串原小学校、串原中学校の校長を務めさせていただいております安藤善和です。この部会の副部会長についても昨年度より引き続き務めさせていただきますので、何とぞよろしくお願いします。

事務局 ありがとうございます。そうしたら、杉山さんから順番に自己紹介のほうを、すみませんがよろしくお願いします。

委 員 こんばんは。明智の地域自治区の会長を務めております杉山と申します。よろしくお願いします。

委 員 こんばんは。山岡小学校PTAの加藤浩児と申します。よろしくお願いします。

委 員 上矢作小学校のPTAの役員で出ています小笹と申します。よろしくお願いします。

委 員 上矢作中学校のPTA会長をやっています近藤譲です。よろしくお願いします。

委 員 明智小学校のPTA会長の根崎紀幸です。よろしくお願いします。

委 員 串原中学校PTA代表の堀と申します。よろしくお願いします。

委 員 明智中学校のPTAの代表で服部雪美です。よろしくお願いします。

委 員 岩邑中学校の代表で市岡といいます。よろしくお願いします。

委 員 岩邑小中学校運営協議会で参加させていただいております小木曾真由美です。よろしくお願いします。

委員 岩邑小学校代表の成瀬と申します。よろしくお願いいたします。

委員 上矢作こども園のPTAの鈴木です。よろしくお願いいたします。

委員 串原こども園の園長の山田といいます。よろしくお願いいたします。

委員 山岡小学校の校長の加藤美香です。よろしくお願いいたします。

委員 山岡こども園保護者会の三浦です。よろしくお願いいたします。

事務局 学校統合準備室の勝有紀と申します。よろしくお願いいたします。

事務局 同じく学校統合準備室の志津と申します。よろしくお願いいたします。

事務局 失礼します。今年度からお世話になります学校統合準備室の山本です。どうぞ
 よろしく申し上げます。

事務局 事務局の工藤と申します。よろしくお願いいたします。

事務局 同じく事務局の西尾と申します。よろしくお願いいたします。

3 課題の進捗状況について

部会長 それでは、3番の課題の進捗状況につきまして、事務局にお願いいたします。

事務局 それでは、座って説明をさせていただきます。3番になりますが、課題の進捗
 状況についてということで説明をさせていただきます。

資料の2ページをお願いいたします。

2ページの下段になりますが、3の課題の進捗状況についてということで、
 総会のほうで少し話をさせていただきましたが、総務部会では8つの課題の調
 査検討に取り組んでおります。その課題の進捗状況を確認したいと思います。
 もう1枚めくっていただきまして、3ページをお願いいたします。3ページ、
 4ページにつながっていますが、総務部会が担当する1から8までの課題につ
 いて進捗状況等を書いた表になります。1つずつ説明をさせていただきます。
 まず、番号1番になりますが、課題の新中学校の名称についてというところど
 すが、進捗状況につきましては、皆さんもご承知だと思いますが、もう恵那南
 中学校に決定をしております。今後のスケジュールにつきましては、完了とな
 っております。

次に、課題2の校歌の制定についてになりますが、この校歌の制定につきまし
 ては、現在、岡田如実さん、声楽家で山岡町出身の方になりますが、その方に
 作詞作曲を依頼しております。10月末をめどに制作していただくということ
 で話をしております。校歌のほうが完成しましたら、各中学校のほうで歌唱指
 導を行っていただく予定をしております。

次に、課題3の校章の制定についてになります。これも先ほど総会のときにも
 少し触れさせてもらいましたが、校章のデザインの一般公募を行いました。7
 8点の応募がございまして、現在、事務局のほうで選定の作業をしております。
 一次選定としまして、現在、恵那市内の美術の先生にお願いをして、78点の
 中から10点ほどに絞り込みをお願いしております。その後、恵那南地区の中
 学校の校長先生に二次選定をお願いして、その10の作品を6作品ぐらいに絞
 っていただこうかなと、今、思っております。その6作品に絞っていただいた
 デザイン案を、総務部会のほうでまた選定していただいて、3点ないし4点、

そこら辺はまた皆さんと検討なんですけど、そこで絞り込んだデザイン案で最終的にアンケートを取って決めていきたいと思っておりますので、よろしくお願いをいたします。

次に、課題４の校訓の制定についてですが、学校教育目標は校長部会のほうで作成して、理事会にて承認ということで、今、進んでおりますが、総務部会のほうでは、まだどういった教育目標かということをお話できておりませんので、今後の総務部会のほうで校長会のほうでつくっていただいた学校目標、それを皆さんに検討していただいて、最終的に９月の理事会で提案をかけて諮っていききたいなというふうに考えております。

次の課題５になります。これも先ほど総会のほうで説明をさせていただきましたが、制服・体操服・カバン・上履きについてになります。制服と体操服につきましては、先ほど総会のほうでも承認をいただきましたが、デザイン案のほうはアンケートの結果で決定をいたしました。また、カバンと上履きにつきましては、校長会のほうから提案をいただいておりますので、再度、総務部会のほうで検討していただき、また９月に予定しております理事会のほうで提案をして決定をしていければと考えております。

課題６の閉校記念式典ですが、進捗状況につきましては、式典の内容や時期を、今現在、調整をしております。これはあくまでも儀式ということで、学校と教育委員会で内容を調整して行うというふうに、今、進めております。あと、閉校記念事業につきましては、各学校と地域が中心となって、内容を、今、検討をしていただいております。この内容につきましては、総会まで報告をして確認をしております。総務部会や幹事会、理事会でこの式典の内容等の進捗状況を報告させていただきたいなというふうに考えております。閉校記念式典につきましては、来年になりますが、８年の３月下旬に各中学校で式典を行う予定で、現在、調整をしております。

次に、開校記念式典ですが、これも、現在、式典の内容・時期について調整を行っております。これも儀式として教育委員会と５校の校長にて内容を検討して執り行うということで総会まで確認をしております。また、準備委員会のほうにそれぞれ内容等が決まりましたら、報告していく予定でおります。開校記念式典につきましても、８年の３月下旬ということで、今、スケジュールを組んでおります。

次に、課題８になりますが、広報活動に関することということで、これは適宜、情報提供を行うということで、特に総会にかけたりとかして決めるものではなく、随時、情報提供を広報紙やホームページ、あと統合準備室だよりというのもございますので、それを使いながら情報提供を行っております。

以上、総務部会が受け持つ課題について、進捗状況について説明をさせていただきました。補足がありましたら。

部会長 以上の説明に関しての質問あるいはご意見等がありましたら、挙手にてお願いいたします。どうぞ。

委 員 理事会のときにお聞きしたと思うんですけど、アンケートの結果、制服が決ま

りましたみたいなことだったんですけど、そのときにアンケートの数が324と370で、微妙な数で、115の人は選んでいない状態で、これでいいのかな、決定でという話があったと思うんですけど、それってどんな感じですか。

部会長 それに関しては、前段で、どうやって決めるかというお話をしたときの総務部会で、2段階アンケートとか、そういう設定はしていなくて、1発アンケートで最多のものを採用するというふうに決めていますので、総務部会の中では1回選定して、残った2案からもう1回という形をその場でやりましたけれども、全体の保護者あるいは子供たちにアンケートを取るときに、上位2つで決選投票みたいな手順は決めていませんので、それでご了承いただいているというふうに思っています。

委 員 一応、アドバイザーの先生が当事者が納得したうえで、ということをおっしゃっていたので、それで本当にいいのかなというところをお聞きしたかったです。

部会長 あと、母数に関しては報告がありましたよね。成瀬さんから母数がどうなっているかという話をいただきましたので。

委 員 それに関して、皆さんはどう思われるのかなと思って。

部会長 ほかの何かご意見等ありますか。

委 員 理事会でも多分おっしゃっていたと思うんですけども、先生がおっしゃっていたことというのは、例えばですけど、今回、ここは別に僕はそれでいいと思うんですけども、324を選んだ方にも、こうなりましたよというのをちゃんと説明する責任があるんじゃないかなというところで、ここでどういうふうにそういった発信をしていくのかというのも踏むべきじゃないかなというのが小笹さんの意見かなというふうに僕は捉えたんですけども、事務局はどのように捉えたのかなということをお伺いしたいと思います。

事務局 先ほど原田さんが言われたように、総務部会のほうで最多得票数を取ったデザインを採用するというふうで、それを部会案とするというふうで決めていただいたという経緯がありましたので、単純に得票数が高いものが採用されるという考えで事務局はいます。

部会長 この結果の報告については、統合準備委員会だよりとか、そういうことで多分報告はされると思うんですけども、どうですか。

事務局 当然、情報提供はさせていただきますので、統合準備室だよりというような広報紙を使いながら、こういったデザインになったかということは皆さんに周知をしていく予定をしております。

委 員 毎回お願いしているんですけども、当事者の立場に立った発言をいただけないかなというのをすごく感じて……。子供たちが選んだんだよというところが、やっぱり全面に押し出せていないのかなというのをすごく感じていて、時間とか大人の都合とか、もう多数決で決まったのでこれですじゃなくて、選んでもらったんだよということが大事なんじゃないのかなというのも……。それがあれじゃないですか、例えば今回の数字でいきますと、324を選んだ子たちにちゃんと説明するのが大事なんじゃないかというものなんじゃないかなと思ったんです。それが何か欠けてるのかなという、ちょっと偉そうなことを言って

すみません、というのが1つあったのと、ついでに言っちゃいますけど、母数のところが667で110人答えてないのは何でかなと感じたんですけど、これ、割合にしたら何割ですかということなんでけど。何でこんなに答えていない人が100人もいるのかなというのをすごく疑問に思いましたし、あと、いろいろしゃべってすみません、僕が理事会で言ったんですけども、学校で展示されたときに、ちゃんと着てもらったり触ってもらったのかなということをお伺いしたいんですけど、理事会のときには中学校にしか展示していないというようなご回答だったんですけども、小学校ではやられていないのですか。

事務局 ごめんなさい、ちょっと確認をさせてもらいまして、小学校にも制服とかサンプルをお持ちして、投票する子たちには、物を確認して投票をしてもらっています。

委員 今回の総務部会の総意としては、そのときにファッションショーとかをやったり、着てみたりとかっていうのもやりたい、やったほうがいいんじゃないかなというのが、多分、最初の頃、去年とかに出ていたお話だったと思うんですけども、実際、ちょっとヒアリングしたところ、ある小学校では触るなというふうに先生に言われて、触れていないという状況も確認できているんです。何でそんなことが起こっているのかなと。せっかく子供たちが主体となって、これを決めたんだよということをやりたいという思いで、こういうふうに展示するという目的ってそれじゃなかったのかなって。最初、通常の、こんな四角いサンプルだけ回してやると言っていたのを、あえてちゃんと、1着しかないけど、それを全てに回すというふうにしていたのに、何でそれができていないのかなというのがすごく疑問に思ったところがあるんです。そこをちゃんとやっていかないと、何か、僕、これを選んだのに、多数決でこっちになっちゃってとかっていうふうにならないようにしたいなという思いがあるはずなのに、何かどこかでちょっと脱線しちゃっているんじゃないかなってすごく感じていて、これはずっと言ってきたんですけども、そこを直していかないと、だめなんじゃないかなというふうに思っております。

すみません、ちょっと偉そうなことを言っちゃって申し訳ない。別に、僕はこのC案で全然いいと思うんですけども、そこをどう打ち出していくかというのが大事なんじゃないかなというところを考えてもらって、逆に言うと、総務部会で発信していただければ。それが、この8番の広報活動にもつながっていくんじゃないかなというふうに思っているんで、ぜひそういった意識を変えていただきたいなというところを、今、聞いていて思いました。すみません、長々としゃべって申し訳ないです。

以上です。

部会長 分かりました。

副部会長 すみません、ちょっとほかの学校の様子については分からないものですから、串原で言うと、小学生も中学生も全員がブレザーを実際に着て、腕を動かしたりなんかしながら、下の物も履いてみて、履き心地も確認しながらさせていただきました。子供たちがどれを選ぶかなと思っていたら、やっぱりこの票数の

とおりで、AとCに大きく分かれていました。ですので、やっぱり、今、成瀬さんがおっしゃったとおり、これ、新聞が先日出したもののなんですけれども、ここには小中学生、それから保護者のアンケートによって選ばれましたというところが載ってまして、これまでの事務局からの説明のとおりなんですけれども、もう一步踏み込んだ、例えば、この投票の結果、そこまで情報提供が出ていれば、例えば、2つに人気が分かれていたのは子供たちも分かっていたので、ああそうか、やっぱりこの2つが競ったんだなということで、競った中でこっちのほうが多かったんだねということで、普段も子供たちの話合いでは、最終的には多数決で決を取るというのを話合いの活動ではしておりますので、そういったところできちんと情報提供をして、子供たちが納得する形で、結果をオープンにしていくことというのは、あってもいいのかなというふうに、今、お話を伺って思ったところです。

部会長 そのほかに何か。

委員 ちなみに、安藤先生みたいな校長先生のやり方で、皆さんに着てもらってみたいなのを標準的に全校にやってもらえると、みんな納得できるよねということになっていくので、それは校長会で安藤先生もこういうことをしましたよということを伝えていただければ。

副部会長 あのと、実は串原が試着の一番最初だったんです。来ていただいた市教委の方にも、ほかの学校でもぜひこうやって着て、触ってもらって、選んでもらってくださいねということをお願いをして、ほかの学校でもこういう形でやっていきますというふうにお話をいただいていたので、着るなというお話があったかどうかというところは……。

委員 そうすると、校長先生によってばらつきがあるということが、この場で分かったと思うんですよ。

副部会長 でも、これ、現物で試着してというところ、大勢の学校が全員が試着ができるかという、時間的に難しいところがあったのかもしれない。串原は一番人数が少ないので、全員が着る機会ができたのかもしれないですけども、できるだけ触って、こうやって生地を伸ばしてみたりとかしてやりましたので。すみませんでした、そこを私もほかの校長先生方と事前に情報を打合せしておくことがちょっと不十分だったかなと思いますので。

委員 さっき、今の決定事項とはちょっと違うかもしれないんですけども、保護者の方に質問を受けたんですけど、最初の頃は、順次、譲り受けたものを着ていていいみたいなお話があったと思うんですけど、これってジャージもそれでよかったんでしたっけ。

事務局 そうです。ジャージもです。

委員 その中で、前に、私、総務部会にずっと出てきた中で、山岡中学校の子たちはジャージは無料で提供しているんだよというお話を聞いたと思うんです。そうなってくると、私たち、今度、山岡の中学校に行くんですけど、山岡中学校の子だけ無料でジャージが配付されるのかなという話になってくるので、どういうふうになっていくのかなというところが知りたいです。例えば、無料で買っ

ていただけるのであれば、全員同じジャージが着れるわけで、だけど、山岡中学校の子だけ買ってもらえるんだったら、山岡中学校の子だけがこのジャージを着れるという話になるんじゃないですか。

事務局 今度の新しいジャージをとということですか。

委 員 はい。

副部長 これは山岡中学校のPTAのほうの取組か何かでされておられるということですか。

委 員 そう私は聞きましたけど。

副部長 学校としては、ジャージを全員に購入してあげるところは……。

部長 ちょっと今日は山岡中 PTA 代表がいないんですけど。山岡は買って与えていると言っていましたけれども、ただ、統合中学校になった暁には、どうするか分からない。

事務局 リサイクルボックスがあるんですけど、その収益で、何とか小学校6年生の子たちにジャージを無償で配付できるように、今まではずっと取り組んできた、そういうようなお話は聞いたことがあります。

委 員 でも、それを全部が一緒になるけど、今後も山岡は山岡の子だけ続けていくんですかということが聞きたいことで、そうすると、じゃあ譲り受けたジャージですけど、新品を買ってもらえるなら欲しいやとなると思うんです。

副部長 そこについては、山岡のPTAの……。

事務局 PTAではない。要は、リサイクルボックスを運営している協議会みたいなのがあって、その活動だそうです。

副部長 山岡の地域の活動ということになりますので、それをやるかどうかについては、恵那南の全地区のところで、何かそういう組織、協議会等が立ち上がるかどうかは、ここの部会で検討できるものではないと思いますので。

委 員 そこを教育委員会さんや先生たちが話し合って、どうしていくかということをしていかないと、不公平感が生まれたりとか……。

部長 それは恵那市全域でやるかどうかという話になると思うので、恵那南中学校だけやってくれというのはなしではない。

委 員 でも、このコンセプトって何でしたっけ。5つの地域を1つの地域に捉えると言っていますよね。じゃあできますよねというふうに思っちゃう人もいるかなと、今、聞いていて思いました。なので、そういうところも、逆に言うと議論すればいいじゃないかと。

委 員 そうそう。どうやったらできるのかということを議論したりとか、どうやったらみんなに無料で配付できるんだろうねということをみんなが考えたら、そのリサイクルボックスだって活用できるわけじゃないですか。5町にあるわけだから。それを5町に落とし込んでいけばいい話だし、できないというよりも、できるようにしていったほうがよくないですか。

部長 リサイクルボックスについては、5つの自治区でそれぞれ運用が異なっていて、岩村の場合はコミュニティセンターのところにあります。山岡は確か学校に置いてあると聞いたんですけども。中学校ですか。

委 員 小学校です。

部会長 小学校ですか。だから、その管理は小学校でやられているというふうな話になっていまして、ほかの地域の情報を持っていないので分からないんですけれども、ですから、そのリサイクルボックスの収益をどう扱うかについて、またそれぞれで違うので、山岡でやっていることを5地区で全部やれるかというのと、ちょっとまた話が変わってくるし、だから、それを議論するのがこの総務部会の役目なのかといっても、ちょっとまたそれは違うかなという気はするんですけれども。

委 員 ここで議論するんじゃないくて、こういう課題・議題が上がったよというのを伝えてもらえればいいんじゃないかと思うんですけど。逆に言うと教育委員会とかに。総務部会は、その話はしないけど、その話は教育委員会で1回持ち帰って議論しますとか、確認しますとかでいいんじゃないかなと。

委 員 それでいうと、幹事会は自治区会長さんが全員出ているんですよ。

部会長 全員は出ていないです。

委 員 そうなんですか。じゃあ地域の自治区会長さんがそれぞれ出ていらっしゃる会

部会長 全部出ているのが理事会。

委 員 じゃあ理事会でそれをお話ししたらいいんじゃないですか。

部会長 理事会で、どうなんだろうね。

委 員 総務部会でこういう話がありましたというふうに上げるだけ……。

事務局 問題提起というか、そういう形でお話することは可能かなと。

委 員 せっかく山岡でいい取組をしているんだったら、それはみんな5町やっていけばいいじゃないですかという話じゃないですか。みんなだって得するわけだし。ただ、みんなで廃品回収をやって、えらい思いをしないでやだなと思うよりも、それが子供たちの制服やあれになるんだったらって、5町ともなることないですか。

部会長 岩村の場合は、PTAによる廃品回収はやめました。その代わりリサイクルボックスにみんな持ってきてくださいと。今までPTAの廃品回収に出していた高齢者の方とかで自分でリサイクルボックスに行けない人たちについては、その地域の人たちで助け合ってリサイクルボックスに持ってきてましようという話になっています。

それで、昨年度、岩村は恵那市13地域の中で断トツのトップで、百十何万の収益があって、その40%ずつを小学校・中学校のPTA及び学校に分配しています。それはPTAとか、いろんな学校の教育で、学校の予算でできない分野の活動費として充てられています。ですから、それをジャージの購入費用に充てるとか、そういう形にはなってないんですけど。それは学校にお任せしているという状態になっています。

ですから、あのシステムが恵那市がいつまでやってくれるか分からないんですけれども、それを大きな財源として活用するということで、皆さんの地区が頑張っ

それぞれの地域で買ってあげようかという話になればなったで別にいいことだとは思いますが、それは、それぞれの取組が違うものですから、そこを整理することになるので、ここには私と明智の杉山会長がいますけれども、恵南の自治区の会長の会長会みたいな中で、そういう話が出ているけどという話をするのは可能だと思います。ただ、それが具体的にどういうことになるかは、ちょっと分かりません。それを恵那市の予算でやってくれという話になると、その恵那の4つの中学校全部の話になると思いますので、南中学校だけ恵那市の予算でやるということはちょっと難しいかなと思います。

地域自治区もそれぞれ財政状況が微妙に違いますので、その5つの恵南の自治区がみんなそれをお金を出してやることができるかどうかというのも、なかなか足並みをそろえるというのは微妙な問題があると思います。山岡はそうやってジャージにされている。岩村は小学校・中学校に分配している。そういうことになっています。

委 員 明智は、明智町にそういう廃品回収業者があるので、国本商店さんをお願いをしておるんですが、これ、はっきり言ってリサイクルボックスではお金にならないんです。地元だから使っているということで、岩村さんや山岡さんとは全然違う状況で……。

部会長 そうか、そうか。財源になっていない。

委 員 全くないです。だから、明智は、いまだに今週の土曜日にもリサイクル活動がありますけど、そういうところへなるべく持ってきてくださいと皆さんにお願いしていますけれども。

副部会長 やっぱり地域自治というものを考えたときに、これはそれぞれの地区の自治会という、そういうそれぞれの地域の主体性に合わせて、地域の皆さんでそうしようという話をされてやっている。それが自治の基本だと思いますので、横並びに全部のところでリサイクルボックスのお金の運用をそろえるというのは、これは自治の基本からは外れてしまうことになるので、それぞれの地区で、そういう使い方をじゃあしましよと決めていただく手続を取るのが正式なルートかとは思いますが、それぞれ地域の班長から自治会長さんからはじめ、地域自治区の組織があると思いますので、そちらのルートでご検討いただくのがきちんとした手続の方法かとは思いますが。

委 員 分かりました。じゃあ、そういうルートでいくとしたら、蓋を開けたときに、山岡の子たちは新品のジャージが着れていましたという状況が出来上がるということでよかったですか。

部会長 それはまだ分からない。山岡の意向が。

事務局 引き続きそうされるのかどうかは分かりません。

委 員 知らなければ、それで終わったと思うんですけど、一応、そういう部会がずっと続いてきた中で、そういう情報を得たので、じゃあいいことはやっていきましょうよということでお聞きしただけなんですけど、別に悪いことをしているわけじゃないので、子供達にもいいし、リサイクルにもなるからいいよねというお話になったと思うので。

部会長 いろんな財源があると思いますので、それでやれることがあったらやるということで、そういうご意見があったということについては、何らかの形で……。

委 員 本当に蓋を開けたときに、もしそうなっていたら、そういう不公平さが出る可能性はありますよということだけは、やっぱり総務部会の中でその話をしたんだよねということを言われると思うので、そこはちゃんとどうしていくか、どう説明していくのかということも含めて考えていただきたいなと思います。

部会長 それはそのとおりだと思います。
そのほか何かありますか。

委 員 すみません、1つだけ。広報活動に関することなんですけれども、今だに、よく保護者の方から言われることが、部活動ってどうなるのか。部活動をやっていたらスクールバスに乗れないのかというふうに言われるんです。多分、今までずっと教育委員への説明会とかで言われたのは、人数が増えることで部活動ができますよということを全面的に押されてきたと思うんですけれども、結局、それって、今、もう部活動自体が地域移行になりますよというところが、順次進んでいくというところがあると思うんですけど、そういったところがなかなかまだ浸透していないのかなというのがあって、その辺もしっかりと情報提供をしていくということをしていかないといけないのかなというふうに思っていて、広報日より、ホームページでやっていますよと言っているんですけれども、ちゃんと浸透していないんじゃないかなというのをすごく感じていて、どこかでまた、今、これだとあるんですけれども、どこかで1回説明会を実施するって書いていませんでしたっけ。

事務局 学校説明会ですね。

委 員 そういう場でもいいので、その辺をしっかりと情報を保護者の方に伝えていただくということをしていかないといけないのかなというのを、すごく感じているところでもありますので、ぜひそういったところも考えていただけたらなと思います。
以上です。

事務局 分かりました。

部会長 よろしいですか。

委 員 この校歌、校章、校訓のところですけども、アドバイザーの先生が、どんな学校にするのかということがとても大事で、それを含めた上で校歌や校章というのができていくんだよというお話をしてくださったと思うんですけど、校歌についても、校訓というところが校長会とかで話し合われて、それを岡田さんという方に落とし込んでいただいて作られていくという認識でよかったですか。

事務局 そうですね。校歌につきましては、以前、子供たちにアンケートを取って、その情報を岡田さんのほうに提供して、子供たちの思いというか、それを岡田さんに伝えて、それを基に校歌のほうは作ってもらうように話はしています。

委 員 どんな学校にするのかとか、どういう方向性になっていくんだよということを、校長会の中で話し合われたことも落とし込んでいただけたということですか。

事務局 そうですね。

部会長 これは学校教育目標で、微妙なニュアンスの違いを……。

副部会長 そうなんです。学校の教育目標は、その言葉が全ての学校で校歌の中に反映されているかという、直接、その言葉は入っていない場合が多くて、その理念、この学校のコンセプトというか、基本構想のところは校歌の中に盛り込まれている。ふるさとの自然や文化や伝統というところや、子供たちのこれからの成長や、こういう子に育ててほしいという願い、そういったところが校歌に盛り込まれるものなので、直接、今、校長会の中で検討している学校教育目標の文言が、それもリンクはするのですけれども、直接その言葉が入るというものではないというところはご了解いただけたらと思います。

委員 それは分かっている、文言が入るとかではなくて、校訓で学校教育目標という中に、校長先生たちの思いが含まれるんだよねということを私はアドバイザーの先生のお話からお聞きしたんです。

事務局 そうですね。

委員 そのときに、じゃあ校長先生たちの思いだったりとか、どんな学校にしていきたいというところが、この校訓の中に反映されていくんだよということをお聞きしたので、そこはリンクしていますよねというお話です。

事務局 リンクしています。

委員 なので、校訓にしても校歌にしても校章にしても、それは全部別々のものではないのではないですかというのは、この間のアドバイザーの先生が言っていらっしまったので、そこはちゃんとリンクしているものではないとおかしいですよ。

委員 リンクしていないといけないけど、今、これってまだ……。もう目標が決まったんですか。校訓の原型、原案というか。

副部会長 学校教育目標のですか。はい。

今、5校の中学校の校長の中で提案を検討をして、秋に学校の説明会があるんですけれども、そのときにはお話ができるように。

委員 それだと校歌に間に合わないのでは。

部会長 それはコンセプトの段階で。

委員 コンセプトではなくて。

部会長 校訓というか、微妙に違うと思う。

委員 何かこういう形にしたいですよという軸がないのに、なぜ歌詞に落とし込めるのか。

副部会長 学校教育目標については、もうこの中学校の基本構想が立ち上がったところに基づいて、そこに基づいて検討をしておりますので、校長会のほうも。

委員 今、検討段階なんですよ。

副部会長 基本構想がベースになっているという、同じ共通した理念ですよということです。

委員 じゃあ基本構想はできているのか。

事務局 はい。

委員 校長会の中で基本構想はできていて……。

副部長 校長会ではなくて、統合の基本構想。
委員 統合の3本の柱のやつか。
副部長 そうです。
委員 それが校歌と結びつくということですか。
副部長 はい。そこに我々も新しい学校のあれが基本理念です。
委員 それって、ちょっと話が……。理事会の件の話なんでいいですけど。話が長くなるのでやめます。いいです。
副部長 ただ、大きくずれるものではありませんので、中学校でこういう生徒を育てたい、こういう力をつけたいという願いは……。
委員 でも、基本構想って本当に大きな柱じゃないですか。
副部長 はい。
委員 そこから本当は枝分かれしているんですよね。トップのところまでということだと考えると、この下を早く作らないとということかなと。それと校歌がリンクするのかなというふうに思ったんですけど。ということですけども、すみません、多分、話が長くなるのでやめましょうか。いいです。
部長 それでは、課題の進捗状況につきましてはご理解いただきたいと思います。

4 その他

部長 それでは、4番の連絡事項。
事務局 そうしたら連絡事項のほうになります。次回の総務部会についてですが、先ほどもちょっと説明をさせてもらいましたが、校章のデザインについて、総務部会のほうで少し選定をお願いしたいなと思っております。今、市内の美術の先生のほうに選定をしていただいております。その後、恵南の5中学の校長先生に選定をいただいた後に、総務部会の方に選定をお願いしたいというふうに思っておりますので、その作業を7月初旬に行いたいなと思っております。日にちのほうが決まりましたら、また案内のほうをさせていただきますので、よろしく願いいたします。
以上になります。
部長 長々とありがとうございました。これにて総務部会を閉じたいと思います。どうぞよろしくお願いします。ありがとうございました。